

一般社団法人日本エイズ学会 2021年度第2回理事会議事録

日時：2022年2月8日（火）11:00～12:00

開催方法：WEB会議（Zoom）

出席者：今橋真弓，上野貴将，宇宿秀三，岡本 学，
塩野徳史，白野倫徳，杉浦 互（理事長），
関根祐介，高折晃史，立川（川名）愛，
照屋勝治，長島真美，畠山修司，平野 淳，
俣野哲朗，森 治代，矢倉裕揮，吉村和久，
栗原 健（監事），松下修三（監事）

以上 20 名

欠席者：遠藤知之，高久陽介，立川夏夫，満屋裕明

以上 4 名

1) 議事録署名人指名

本理事会の議事録署名人として杉浦理事長および栗原監事が指名された。

2) 松下前理事長よりご挨拶

松下前理事長より，2021年度～2022年度（2021年11月～2023年12月）任期の理事に挨拶がなされ，本学会の取り組み，基礎・臨床・社会の各分野の連携について，およびPrEP, U=Uを含めた今後の課題について説明がなされた。

3) 新任理事の自己紹介

各理事・監事より自己紹介がなされた。

4) 理事長推薦理事・監事，各種委員会・委員の決定および総務委員会の新設について

理事長より，理事長推薦理事，監事および各委員会委員について説明され，以下の通り承認された。（敬称略）

- ・理事長推薦理事：畠山修司，上野貴将
- ・監 事：栗原 健，松下修三
- ・HIV/AIDS 臨床関連事項検討委員会
委員 長：高折晃史
副委員長：南 留美
委 員：岡 慎一，平野 淳，矢倉裕揮，大金美和，
白野倫徳
- ・学会認定制度審議会
委員 長：白阪琢磨
副委員長：島田 恵
※委員は委員長，副委員長が選出の上，理事長が任命
- ・PrEP 導入準備委員会
委員 長：水島大輔
委 員：生島 嗣，岩橋恒太，金子典代，塩野徳史，
高野 操，谷口俊文，仲村秀太
アドバイザー：市川誠一，岡 慎一，栗原 健，
白阪琢磨，松下修三

・学会賞（シミック賞）選考委員会

委員 長：杉浦 互（理事長）

※委員は委員長が選出の上，理事長が任命

・ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞選考委員会

委員 長：上野貴将

※委員は委員長が選出の上，理事長が任命

・日本微生物学連盟代表：小柳義夫

また，理事長代行として俣野理事，会計担当理事として吉村理事，編集担当理事として畠山理事が就任することが確認されるとともに，HP 担当理事，利益相反委員会委員長については各理事に自薦の要請がなされた。

つづいて，杉浦理事長，俣野理事長代行，吉村会計理事，高折 HIV/AIDS 臨床関連事項検討委員会委員長による総務委員会の設置が提案され，承認された。また，総務委員会委員として社会系，看護系理事の就任を検討することとなった。

5) HIV/AIDS 臨床関連事項検討委員会対応案件について

高折委員長より，ボカブリア注，リカムビス注について，保険医が投与することができる注射薬の対象薬剤への追加の要望の必要性について委員会で検討が行われ，現時点ではただちに厚労省に要望書を提出する必要がないとの結論になったことが説明され，確認された。

つづいて，前理事会および前期の HIV/AIDS 臨床関連事項検討委員会で議論されたプリジスタナイクおよびストックリンの将来的な販売中止の件について説明がなされ，今後，厚労省あるいはPMDA等から学会に照会があった場合は前理事会の決定に従い同意する方向とすることが確認された。なお，ストックリンに関しては，現在の服用者数の情報確認や周知の方法等を学会として要請することもあり得ると報告した。

また，レクシヴァの将来的な販売中止の情報提供があったことが報告され，関係機関から照会がなされた際は委員会として検討を行うことが説明された。

6) 新規ワーキンググループについての提案

理事長より，以下のワーキンググループ設置の提案がなされ，承認された。（敬称略）

- ・IAS 招致委員会（国際エイズ学会主催学術集会の日本招致推進を目的とする）
委員 長：田沼順子
副委員長については各理事に自薦の要請がなされた。
※委員は委員長が選出の上，理事長が任命
- ・ワクチン接種勧奨のためのガイドライン作成委員会
委員 長：照屋勝治
副委員長：渡邊 大
※委員は委員長が選出の上，理事長が任命
- ・医学教育事業委員会（各企業の医学教育事業助成獲得を

目的とする)

委員長：今橋真弓

※委員は委員長が選出の上、理事長が任命

7) 2024 年度学術集会・総会会長の選出について

理事長より、これまでの本学会学術集会・総会の会長、開催地等が説明され、次回理事会において議論を行うことが確認されるとともに、候補者推薦の依頼がなされた。

8) 医学中央雑誌刊行会の著者抄録利用許諾について

島山理事より、医学中央雑誌刊行会から日本エイズ学会誌の著者抄録の著作権利用許諾の依頼があり、編集委員会で検討の結果、許諾の方向とすることが確認された旨が説明された。本件について理事会としても異議なく許諾することが確認された。

9) 第 35 回学術集会・総会 SCB シンポジウム記録集について

事務局より、第35回学術集会・総会におけるSCBシンポジウム「HIV 感染症の根治に向けて HIV リザーバー制御への課題」の共催企業からシンポジウム記録集の配布（学会誌への同封等）の検討依頼（当シンポジウムは今後、本学会学術集会・総会において継続的に開催される予定であり、記録集は宣伝ではなく HIV 感染症の根治に向けた取り組みの促進を目的とする）があったことが報告された。

本件については会員への情報提供等のベネフィットの観点、企業の宣伝との線引き・基準の観点、発送費の重量追加分を含めた費用の観点等を考慮し、編集委員会で検討を行うことが確認された。

10) HIPs in 九州～HIV Pharmacist seminar～の共催について
事務局より、本年3月12日に開催される当セミナーについて、本学会に共催の依頼があったことが説明され、共催とすることが確認された。

11) 「PrEP の診療指針・要旨（案）」および「国内承認後の実施体制（案）」に関する意見募集について

事務局より、前回理事会で確認された、PrEP の診療指針・要旨（案）および国内承認後の実施体制（案）に対する意見募集の件について説明がなされ、学会 HP に掲載し、広く意見を募ることが確認された。

12) 各種報告事項

・会員現況

事務局より、会員現況について報告がなされた。

・2021 年度第 35 回学術集会・総会の報告

俣野前会長より、現地会場と配信のハイブリッド形式で開催された第35回学術集会・総会の報告がなされ、協力の謝辞が述べられた。

・2022 年度第 36 回学術集会・総会準備状況の報告

杉浦会長より、第36回学術集会・総会が2022年11月18日～20日にアクトシティ浜松で開催予定であること、テーマが「Resistance～耐性との闘い/差別との闘い」であることが説明された。

・2023 年度第 37 回学術集会・総会準備状況の報告

高折次期会長より、第37回学術集会・総会の準備状況が報告された。

以上